

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 1 月 18 日作成)

小委員会名	海洋建築計画小委員会	主 査 名：黒木正郎 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋建築委員会	委員長名：遠藤龍司
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年度出版の「海洋建築の計画・設計例 (仮)」(以下、設計例と略称) の出版に向けて、海洋建築の計画に関する章の作成を担当する。 ・ 初年度：設計例のうち計画の章の構成の立案，設計例の検討 2 年度：設計例初稿の作成 3 年度：設計例 2 次原稿の作成 4 年度：出版に向けた最終調整および講習会の実施 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：黒木 正郎 (日本設計)、幹事：恵藤 浩朗 (日本大学)、委員：遠藤龍司 (職業能力開発総合大)、後藤剛史 (GT 建築工房) 桜井慎一 (日本大)、畔柳昭雄 (日本大学)、大塚文和 (日本大)、居駒知樹 (日本大) 荻原みき (NTT ファシリテーター)、横内憲久 (日本大)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2015 年度予算	30,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv. ai. j. or. jp/kaiyo/s0/index. htm

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	海洋建築部門研究協議会「事例を通して海洋建築の計画・設計の特徴を考える」 参加者数 約 26 名 (資料名) 同上
対外的意見表明・パブリックコメント等	日本建築学会「建築の未来への貢献—これから 10 年のビジョンと中長期計画—(案)」へのパブリックコメント (海洋建築本委員会と共同で検討)
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 海洋建築企画小委員会の議論にもとづいて、目次案の作成を意図している。 2. 海洋に限らず、建築物としての計画と条件 (いわゆるブリーフィング) の一般論については提案した。
委員会活動の問題点・課題	企画委員会の議論からある程度方向性が見えてこないとな委員会への活動に移れない。次年度は企画委員会である程度建築計画の議論の対象が絞れるまでになれば良い。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。